取扱説明書

IH クッカー
KM 6115

ja – JP

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

M.–Nr. 07 845 750

目次

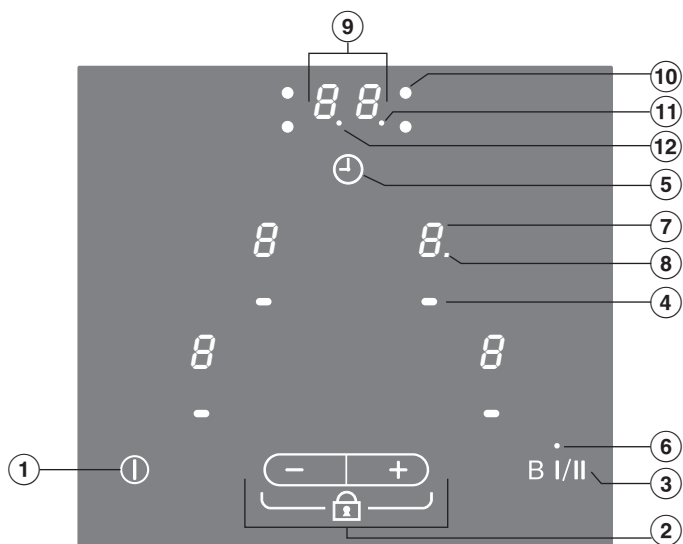
目次

各部の名称

①　　　調理ゾーン（ツインブースター付き）

②③④　調理ゾーン（シングルブースター付き）

⑤　　　操作パネル

操作パネル

各部の名称

センサーコントロール

① 本製品の電源のオン / オフ

② – 火力レベル設定用
– ロックの有効化
– 時刻設定用

③ シングルブースター / ツインブースター

④ 調理ゾーンの選択

⑤ – タイマーの選択
– タイマー機能の切り替え
– スイッチを切る時間の選択（「調理ゾーンの電源を自動的に切る」を参照）

表示ランプ

⑥ シングルブースター / ツインブースター

調理ゾーンの表示

⑦
0 = 調理ゾーン使用可能
h = 保温機能
1～9 = 火力レベル
' = ツインブースターレベル 1
'' = シングルブースター / ツインブースターレベル 2
u = 調理ゾーンに鍋がない、または使用に適さない鍋 (「鍋なし OFF 機能」を参照)
≡ = 余熱
F = エラー（「スイッチオフ機能」を参照）
A = 自動加熱

⑧ 自動加熱または拡張火力調節（「プログラミング」を参照）用の表示ランプ（右後方の調理ゾーンなど）

タイマー表示

⑨
00～99 = 分単位の時間
0.h～9h = 1 時間単位の時間

⑩ 右後方の調理ゾーンなど関連するゾーンの表示ランプ

⑪ タイマー用の表示ランプ

⑫ 30 分単位を示す表示ランプ（99 分以上に設定する場合は 30 分単位で設定することができます。）

調理ゾーン

調理ゾーン	KM 6115	
	最小～最大 ∅（cm）*	消費電力（kW）**
	16 – 23	標準 1.90 ツインブースターレベル 1 3.00 ツインブースターレベル 2 3.20
	10 – 16	標準 1.10 シングルブースター 1.90
	14 – 20	標準 1.50 シングルブースター 2.60
	14 – 20	標準 1.50 シングルブースター 2.60
		合計 : 5.90

* 記載されている範囲内の直径であれば、すべての大きさの鍋をご使用になれます。

** 記録されているワット数は、使用する鍋の大きさや材質によって異なります。

安全上のご注意

表示	表示の意味
⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例	
⃠	**禁　止**（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
❗	**強　制**（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
△	**注　意**（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	禁止行為		潜在的な危険・警告・注意
	分解禁止		感電注意
	水場、湿気の多い場所での使用禁止		機器に損害を与える可能性のある場合
	接触禁止		発火注意
	強制／指示		高温注意
	電源接続に関する注意		破裂注意
	必ずアース線を接続		

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

本製品は、地域および国のすべての安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならなければ、人的傷害または物的損害を招く危険性があります。

事故や製品の損傷および故障を防ぐために、本製品を設置するときや初めてご使用になる前に、本書をよくお読みください。
本書には、製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、本製品の設置、操作、お手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

⚠ 警　告

正しい用途

本製品は、業務用ではありません。ご家庭での使用、またはそれに類似する以下の職場や居住環境での使用を想定しています。

– 店舗

– オフィス、ショールーム

以下のような建物の入居者

– ホステル、ゲストハウス

本製品は、調理および食品の保温のための家電機器としてのみお使いください。
その他の用途で使用した場合の製造者責任は負いかねます。用途を誤ると、事故や損傷を招く危険性があります。不適切な用途または操作による損傷や故障は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

本製品を屋外で使用しないでください。

本製品は、安全上の責任を持つことができる方の監督または指導のもとで使用する場合以外は、身体的、知覚的、精神的機能または、経験や知識が十分でない方による使用を目的としていません。

安全上のご注意

警　告

お子様の安全

お子様による操作や設定の変更を防ぐには、セーフティロック/システムロックを使用してください。

どのような状況でもお子様が本製品に近づかないように注意してください。本製品はおもちゃではありません。ケガをさせないために、本製品でお子様を遊ばせたり、操作パネルを使用させたりしないでください。お子様には誤操作によって生じる危険を知らせておくことが必要です。キッチンで作業するときは、お子様から目を離さないでください。

ある程度大きくなったお子様には、操作方法を分かりやすく説明し、本製品を安全に使用することができ、誤使用の危険性が理解できた場合のみ、使用を許可してください。

本製品は、使用中はもちろんのこと、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。やけどの恐れがあるため、どのような状況でもお子様を本製品に近づけないようにしてください。

お子様の興味を引きそうなものを本製品付近の収納に保管しないでください。

お子様が本製品の上に登ってやけどをする恐れがあります。

警　告

鍋は必ずお子様の手の届かない場所に保管してください。鍋の取っ手の部分は、クッカーからはみ出さないように内側に向けてください。やけどの恐れがあります。特殊なクッカーガードも市販されています。

ラップ、ポリスチレン、ビニール袋などの包装は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。窒息する恐れがあります。梱包材は、できるだけ早く安全に廃棄するか、リサイクルしてください。

⚠ 警　告

技術的安全性

本製品を設置する前に、損傷がないかをチェックしてください。損傷の見られる機器は、危険ですので設置しないでください。

お住まいの地域および国の電気設備基準に従った有効な接地システムと本製品が完全に接続されている場合のみ、本製品の電気的安全性が保証されます。この基本的な安全要件を満たし、定期的なテストを行う必要があります。何か問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師に家屋内の電気配線の検査を依頼する必要があります。不適切な接地工事による問題（感電事故など）は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、ご使用の電圧と定格消費電力が型式表示シールに記載された仕様に適合しているか確認してください。本製品の損傷を防ぐため、この仕様を満たしている必要があります。不明点がある場合は、資格を有する電気技師にご相談ください。

安全性を確保するため、電気工事がすべて正しく行われている場合にのみ本製品を使用してください。

⚠ 警　告

本製品のキャビネットを開けないでください。
配線、電気部品、または機械的部品の改造や修理はきわめて危険であり、人的傷害または機械的損害や故障を招く恐れがあります。

設置、メンテナンス、および修理は、必ずお住まいの地域および国の電気設備基準に厳密に従って、ミーレにより認められた者が行う必要があります。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

本製品の設置や修理、点検に際しては、必ず電源が完全に遮断されていることを確認してください。本製品が電源から完全に遮断されるのは以下の場合のみです。

– ブレーカーが切られた場合
– 壁のコンセントで電源がオフにされ、プラグが抜いてある場合
– 断路器を電源ブレーカーに変更した場合

本製品に通信モジュールが装備されている場合、本製品の設置やメンテナンス、修理の際には必ず電源を遮断してください。

本製品が保証期間中の場合、製造元の認定を受けたサービス技術者が修理を行う必要があります。
それ以外の人物が修理を行った場合、保証が無効になります。

安全上のご注意

警　告

問題のある部品を交換する場合は、ミーレ製の純正部品のみを使用してください。ミーレ製の交換部品が使用されている場合のみ、製造元により本製品の安全が保証されます。

電源コードが損傷した場合は、資格を有する電気技師が専用接続ケーブルと交換する必要があります。この接続ケーブルはミーレ代理店または販売店でご購入いただけます。

延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線で電源に接続することはお止めください。

これらを使用すると過熱などの恐れがあり、危険です。

製品に問題がある場合、または、セラミックガラス表面にひび割れや欠け、破損がある場合は使用しないでください。すぐに電源をオフにして、製品を主電源から外してください。感電事故の恐れがあります。

ゴキブリなどの害虫が出やすい環境では、本製品とその周辺を常に清潔な状態に保つよう特に注意してください。害虫による損傷は、本製品の保証対象外となります。

注　意

正しい使用方法

心臓ペースメーカーをご使用の方は、以下をお読みください。
本製品の近辺は、電磁性を帯びています。ペースメーカーへのについて不明点がある場合は、ペースメーカーの製造元または担当医にご相談ください。

磁場の影響を受けやすいもの（クレジットカード、ディスケット、小型電卓など）の損傷を防ぐために、これらのものを本製品のすぐそばに放置しないでください。

本製品は、使用中はもちろんのこと、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。余熱表示ランプが消えるまでは、やけどの恐れがあります。

使用中は、本製品から離れないでください。鍋が空になるまで加熱すると、セラミックガラス表面に損傷が生じる可能性があり、この場合、製造者責任は負いかねます。
脂肪や油を沸騰させると発火したり火災が発生する恐れがあります。

油や脂肪が発火した場合は、水で炎を消そうとしないでください。適切な防火毛布、鍋ぶた、湿ったタオル、または同様のものを使用し、炎を覆って消火してください。

⚠ 注　意

より安全にお使いいただくために、本製品をご使用になるときは、耐熱性の鍋つかみや手袋を使用することをお奨めします。鍋つかみや手袋は、湿った状態や濡れた状態で使用しないでください。熱が伝わりやすくなるため、やけどをする恐れがあります。

レンジフードの下でフランベは行わないでください。
炎がレンジフードに引火する恐れがあります。

本製品を他のものを置く台として使用しないでください。本製品の上にナイフやフォークなどの小物類またはその他の金属物を絶対に置かないようご注意ください。故意に、または誤って本体の電源を入れた場合や余熱があるときは、金属部分が加熱する危険があり、やけどの恐れがあります。
材質によっては、本製品上に置かれたものが溶け出したり発火する可能性があります。濡れた鍋ぶたは、セラミックガラス表面に接着して取り外しにくくなる場合があります。
使用後は、調理ゾーンの電源を切ってください。

本製品を布やキッチンホイルなどで覆わないでください。誤って本体の電源を入れてしまった場合、火災の原因となる恐れがあります。

プラスチックやアルミホイル製の容器を使用しないでください。このような容器は高温になると溶け出し、発火する恐れがあります。

⚠ 注　意

本製品で、缶詰を密閉したまま加熱しないでください。缶の中の圧力が高まって破裂します。それによって負傷ややけどを負ったり、損傷する恐れがあります。

本製品では、鉄鍋などの、ふちや底に凹凸のついた鍋は使用しないでください。本体の表面に取れない傷が付く可能性があります。

空の鍋を加熱しないでください。IHは非常に短時間で鍋が加熱されるので、鍋の底の温度が急激に上昇し、油や脂肪が発火する恐れがあります。

本製品を清潔な状態に保ってください。塩、砂糖、砂（洗う前の野菜に付着した）の粒子により、傷が付く可能性があります。

操作パネルの付近には、加熱した鍋を置かないでください。下にある電子回路が損傷を受ける可能性があります。

セラミックガラス表面には物を落とさないようにしてください。軽いものでも場合によっては損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

注　意

調理ゾーンが熱くなっているときに、調理ゾーンに固体または液体の砂糖や、プラスチック製またはアルミニウム製のホイルを落とさないでください。落としてしまった場合は本体の電源を切って、まだ熱いうちに傷の付かないスクレーパーで注意して砂糖、プラスチック、またはアルミニウムの残留物をすべてこすり落とします。
やけどをしないように注意してください。残留物が取り除く前に冷めてしまった場合、セラミックガラス表面に穴が開いたりひびが入ってしまう恐れがあります。
汚れを取り除いた後は、本製品が冷めるのを待ち、適切な専用クリーナーでお手入れしてください。

本製品付近のコンセントを使用する場合は、電気器具のケーブルが本製品の調理ゾーンに触れないように注意してください。ケーブルの断熱材が損傷し、感電事故が発生する危険性があります。

注　意

本製品には冷却ファンが装備されています。本製品のすぐ下に引き出しが装備されている場合は、本製品に十分な換気を確保できるよう、引き出しとその中身、および本製品の下側の間に十分な隙間があることを確認してください。先のとがったもの、小さなもの、紙などを引き出しに保管しないでください。換気スロットに入り込んだり、ファンによって本体に吸い込まれたりして、ファンが損傷したり換気の妨げになったりする恐れがあります。

スプレー缶、エアゾール、およびその他の引火性物質を、本製品の下の引き出しに保管しないでください。

カトラリーを入れる引き出しには、耐熱性のある材質を使用してください。

本製品を長時間集中的に使用した場合、本製品の下にある引き出しに保管した金属製の器具が熱くなる可能性があります。

調理したり温め直したりする場合は、食品を十分に加熱してください。食品の中には、高温で十分な時間をかけて加熱しなければ死滅しない細菌が含まれているものもあります。そのため、鶏肉などの食品を調理したり温め直す場合は、食品に完全に火が通ることが特に重要です。不確かな場合は、調理や温め直す時間を長めに設定してください。

注　意

1 つの調理 / 拡張ゾーンで同時に 2 つの鍋を使用しないでください。

本製品を扉付きの家具の中に設置する場合は、必ず扉を開けた状態で使用してください。本製品の使用中、または本製品に余熱が残っている間は、扉を閉めないでください。

ミーレのパイロリティック機能付きオーブンの上に装備されている場合は、本製品をパイロリティック（熱洗浄）機能作動中に使用しないでください。本製品の過熱防止機能が作動する可能性があります。

油煙が多く出たら通電を切ってください。油が高温になっています。続けて加熱すると発火し火災になります。

揚げ物調理中は、飛び散る油に注意してください。油が飛び散ってやけどの原因になります。

調理直後の熱い鍋やフライパンのふたをクッカーの表面にかぶせるように置くと、表面のガラスが割れる可能性があります。ご注意ください。

安全上の警告や注意に従わない誤った取り扱いによる損傷については、製造者責任を負いません。

環境保護のために

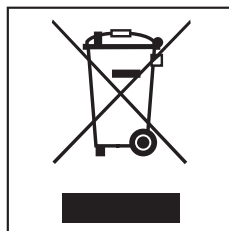
梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用の詰物には、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、通常、リサイクルすることができます。

プラスチックの包装や袋は確実に安全に処分し、乳幼児に近づけないでください。窒息する恐れがあります。

これらの部材は通常のゴミとして廃棄せず、リサイクルに出してください。

使用済み製品の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。ただし、このような物質は製品が正常に機能するために不可欠なものです。したがって、不要になった製品は家庭ゴミとしては出さないでください。

不要になった機器を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

製品を主電源から外す作業は必ず有資格者が行ってください。

本製品に同梱の予備の型式表示シールを、本書の「アフターサービス、型式表示シール」のページに貼り付けてください。

初めてお使いのときのクリーニング

保護材と表面のラベルなどをすべて取り外してください。

初めて使用する前に、湿らせた布で本体を拭いてから、乾いた布で水気を拭き取ります。

初めてお使いになる前に

縁が斜めになったガラスでできているクッカーは、設置してから数日間クッカー本体と天板の間に小さな隙間が見える場合があります。この隙間は本製品の使用に伴って時間とともに減少し、本製品の電気系統についての安全性には影響ありません。

本製品をはじめてお使いになるとき、わずかに臭いが出ることがあります。しばらくすると臭いや蒸気などは発散します。これは健康を害するものではなく、接続不良や本製品の不具合でもありません。

IH クッカーの加熱時間は、従来の電気クッカーに比べて非常に短時間ですのでご注意ください。

IH 機能について

IH 機能の原理

各調理ゾーンの下には、誘導コイルが設置されています。調理ゾーンのスイッチを入れると、このコイルで磁界が発生し、それが鍋の底に直接作用して加熱します。調理ゾーン自体も、鍋から発生する熱によって間接的に加熱されます。

IH 調理ゾーンは、磁性体の底を持つ鍋がのせられた場合（「鍋」を参照）にのみ作用します。

IH 機能は鍋の大きさを自動的に認識するので、鍋の底が当たっている部分でのみ熱が発生します。

以下の場合、調理ゾーンは**機能しません**。

- 所定の場所に鍋が置かれていない、または使用に適さない（磁性体のない）鍋を置いた状態でスイッチを入れた場合
- 鍋の底の直径が小さすぎる場合
- スイッチが入った状態で鍋が調理ゾーンから離された場合

この場合、対応する調理ゾーンの表示で ⊔ が点滅し、選択されている火力設定と交互に表示されます。しばらくすると、⊔ は自動で点灯状態になります。

3 分以内に適切な鍋が調理ゾーンに置かれれば、⊔ は消えて通常通り使用できるようになります。

鍋が置かれない、または使用に適さない鍋が置かれた場合、調理ゾーンおよび本体の電源は 3 分後に自動的にオフになります。

ナイフやフォークなどの小物類またはその他の金属物を本製品の上には絶対に置かないようご注意ください。故意に、または誤って本体の電源を入れた場合や余熱があるときは、金属部分が加熱される危険があり、やけどの恐れがあります。
使用後は、調理ゾーンの電源を切ってください。

使用中の音

IH 調理ゾーンの使用中に、鍋から以下のような音がする場合があります。発生する音は、鍋の材質や製造方法によって異なります。

– 火力設定が高い場合は、ブーンという音がすることがあります。火力設定を下げることで、音は小さくなるか、完全に止まります。

– 鍋の底が異なる素材からなる複数の層（サンドイッチ構造）でできている場合、ひび割れるような音がすることがあります。

– リンクするゾーン（「ブースター機能」を参照）を同時に使用しており、鍋の底が異なる材質からなる複数の層でできている場合、ヒューッと笛のような音がすることがあります。

– 特に火力設定が低いときに、スイッチの入るカチッとした音がすることがあります。

電子回路の寿命を長くするために、本製品には冷却ファンが装備されています。本製品が集中的に使用されると、冷却ファンが作動してヒュー（ブーン）という音がします。ファンは、本製品のスイッチがオフになった後も動作し続ける場合があります。

IH 機能について

鍋

使用に適した鍋には、以下のようなものがあります。

- 底に磁性体のあるステンレス鍋
- ほうろう加工のスチール鍋
- 鋳鉄鍋

使用に適さない鍋には、以下のようなものがあります。

- 底に磁性体のないステンレス鍋
- アルミ製または銅製の鍋
- ガラス製または陶磁器の鍋

IH クッカーでの使用に適した鍋かどうか確認するには、鍋の底に磁石を近づけます。磁石が付く場合、その鍋は使用できます。

鍋底の性質は、鍋の中の食品が加熱される際の均一性に影響する可能性がありますのでご注意ください。

調理ゾーンを効果的にご使用になるには、直径が一番内側のマークよりも大きく、一番外側のマークよりも小さい鍋を選んでください。鍋の直径が一番内側のマークよりも小さい場合、IH は機能しません。調理ゾーンは鍋が置かれていない場合と同じ動作をします。

鍋のメーカーが表示する最大径は、鍋の上部の直径を示すことが多いので注意してください。鍋の底の直径（通常、上部より小さい）の方が重要です。

鍋は、必ず調理ゾーンの中央に置いてください。
鍋が調理ゾーンの一部にしか乗っていない場合、持ち手が非常に熱くなる恐れがあります。

操作方法

本体には、指で接触すると反応する電子センサーコントロールが備わっています。

本体を操作するには、該当するセンサーを押します。センサーを押すたびに音が鳴ります。

火力レベルまたは時間を設定または変更するには、調理ゾーンとタイマーを有効にしなければなりません。
調理ゾーンまたはタイマーを有効にするには、センサーを押して該当する調理ゾーンまたはタイマーを選択します。センサーを押すと、該当する調理ゾーンまたはタイマーの表示が点滅を始めます。表示が点滅している間、調理ゾーンまたはタイマーは有効な状態になります。火力レベルや時間を設定してください。

操作パネルを清潔に保つように注意し、上にものを置いたりしないでください。センサーが正常に反応しなかったり、センサーがものや汚れを操作指示と誤って感知したりすることで、なんらかの機能が有効になったり、本体の電源が自動的にオフになることがあります（「スイッチオフ機能」を参照）。

センサーの上に熱い鍋を置かないようにしてください。下部の電子装置が損傷を受ける恐れがあります。

電源を入れる

ゾーンを使用する前に、本体の電源を入れておく必要があります。

使用中は、本製品から離れないでください。

本体の電源をオンにするには、以下の操作を行います。

■ ⓘ センサーを押します。

調理ゾーンの表示が 0 になります。タイマーの表示部に 00 と表示されます。そのまま何もしないと、安全のため数秒後に本体の電源がオフになります。

調理ゾーンをオンにする、火力レベルを設定する

■ 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーンの表示で 0 が点滅します。

■ 0 が点滅している間に、**–**センサーまたは**+**センサーを押して 1 ～ 9 の火力レベルを選択します。

自動加熱機能を使用して調理する場合は、最初に – センサーを押します（「自動加熱」を参照）。自動加熱を使用せずに調理する場合は、最初に + センサーを押します。

選択された火力レベルは表示内で数秒間点滅し、その後点灯した状態になります。

火力レベルの変更

■ 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

火力レベルが点滅します。

■ **+**センサーまたは**–**センサーを押して、必要な火力レベルを設定します。

設定

出荷時、本製品には 9 つの火力レベルがプログラムされています。設定を微調整したいときは、火力レベルの範囲を拡張することができます（「プログラミング」を参照）。
中間設定を行うと、数字の隣にランプが点灯します。

	設定	
	標準の工場出荷時設定（9 段階の火力レベル）	**拡張設定（17 段階の火力レベル）**
保温する	h	h
バターを溶かす ゼラチンを溶かす	1 ～ 2	1 ～ 2.
ミルクプディングを作る	2	2 ～ 2.
少量の汁ものを温める 米を炊く	3	3 ～ 3.
冷凍野菜を解凍する	3	2. ～ 3
おかゆを作る	3	2. ～ 3.
汁ものや加工食品を温める 卵焼きや焦げ目の少ない目玉焼きを作る 果物を蒸す	4	4 ～ 4.
団子を作る	4	4 ～ 5.
野菜や魚を蒸し煮する	5	5
冷凍食品を解凍して加熱する	5	5 ～ 5.
大量の食品を煮立てる（キャセロールなど） カスタードやソースを煮詰める（オランデーズなど）	6	5. ～ 6
卵を軽く炒める（脂肪分を熱しすぎない）	6	5. ～ 6.
肉、魚、ソーセージを軽く炒める（脂肪分を熱しすぎない）	7	6. ～ 7.
パンケーキなどを焼く	7	6. ～ 7
シチューを作る	8	8 ～ 8.
大量の湯を沸かす 沸騰させる	9	9

上記の設定はあくまで目安です。
誘導コイルの火力は、鍋の大きさや材質によって異なります。そのため、ご使用になる鍋に合わせて設定を少し調節する必要が生じることがあります。本製品を使用していくうちに、ご使用の鍋に最適な設定が分かるようになります。

自動加熱

自動加熱がオンになると、調理ゾーンは自動的に最も高い火力レベル / 設定でスイッチがオンになり、その後選択した連続調理火力レベルに切り替わります。加熱時間は選択した連続調理火力レベルにより異なります（表を参照）。

自動加熱の有効化

■ 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーンの表示ランプが点滅します。

■ 必要な連続調理火力レベル（6 など）が表示されるまで、– センサーを押し続けます。

加熱時間中は連続調理火力レベルの右側にある表示ランプが点灯し、加熱が終わると消灯します。

火力調節の**拡張**範囲で（「プログラミング」を参照）、加熱時間中、連続調理火力レベルと交互に A が点滅します。

連続調理火力レベルを変更すると、自動加熱が無効になります。

自動加熱の無効化

自動加熱時間が終わる前に、自動加熱をオフにすることができます。

■ 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

火力レベルが点滅します。

■ 異なる火力レベルを選択します。

連続調理火力レベル *	加熱時間（およその目安）[分 : 秒]
1	0 : 15
1.	0 : 15
2	0 : 15
2.	0 : 15
3	0 : 25
3.	0 : 25
4	0 : 50
4.	0 : 50
5	2 : 00
5.	5 : 50
6	5 : 50
6.	2 : 50
7	2 : 50
7.	2 : 50
8	2 : 50
8.	2 : 50
9	–

* 数字の後ろに点がある連続調理火力レベルは、火力レベルの範囲が拡張した場合のみ利用可能です（「プログラミング」を参照）。

ブースター機能

調理ゾーンには、シングルブースターまたはツインブースターが装備されています（「各部の名称」を参照）。

ブースターを有効にすると、15 分間火力が上がり、大量の液体や食品を短時間で加熱することができます（パスタを茹でるためにお湯を沸かすなど）。

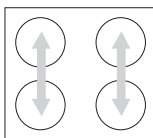
ブースター機能を同時に使う場合は、左右 2 つの調理ゾーンのみ可能です。

ブースター機能をオンにしたときの設定によって、以下のように動作が変わります。

– 設定を選択せずにブースター機能をオンにした場合、ブースター時間が終わったとき、またはブースター時間が終わる前にブースター機能をオフにしたときの調理ゾーンの設定は、自動的に 9 になります。

– 設定を選択してからブースター機能をオンにした場合、ブースター時間が終わったとき、またはブースター時間が終わる前にブースター機能をオフにしたときの調理ゾーンの設定は、自動的に選択した設定になります。

ブースター機能の使用中に調理ゾーンから鍋を離すと、ブースター機能は中断されます。3 分以内に鍋を調理ゾーンに戻せば、ブースター機能は再開します。

ブースター機能では、別の調理ゾーンの火力を一部使用することで更に強い火力を得ています。そのため、調理ゾーンは 2 つ 1 組でネットワーク化されています。
例 :

1 つの調理ゾーンでシングルブースター / ツインブースターのレベル 1 を選択すると、各ペアの動作は以下のようになります。

– ペアのもう一方のゾーンで自動加熱が有効になっている場合はオフになります。

– ペアのもう一方のゾーンで火力レベルが 9 に設定されている場合は火力が下がります。

ツインブースターのレベル 2 が選択されると、ネットワーク化されているペアのもう一方のゾーンの電源はオフになります。

シングルブースターをオンにするには

- 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。
- 必要に応じて火力レベルを選択します。
- **B I/II** センサーを押します。

ブースターの表示ランプが点灯し、調理ゾーンの表示で ıı が点滅し始めます。

数秒後、ıı が継続して点灯するようになり、表示ランプが消えます。

ツインブースターをオンにするには

レベル 1

- 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。
- 必要に応じて火力レベルを選択します。
- **B I/II** センサーを押します。

ブースターの表示ランプが点灯し、調理ゾーンの表示で ı が点滅し始めます。数秒後、ı が継続して点灯するようになり、表示ランプが消えます。

レベル 2

- 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。
- 必要に応じて火力レベルを選択します。
- **B I/II** センサーを 2 回押します。

ブースターの表示ランプが点灯し、調理ゾーンの表示で ıı が点滅し始めます。数秒後、ıı が継続して点灯するようになり、表示ランプが消えます。

シングルブースター / ツインブースターをオフにするには

- 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。
- ブースターの表示ランプが消えて、調理ゾーンの表示に火力レベルが表示されるまで、**B I/II** センサーを繰り返し押します。

または

- 必要な調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。
- 異なる火力レベルを選択します。

保温機能

各調理ゾーンには、保温機能（「h」）があります。「h」機能は、「0」と「1」の間の設定です。

保温機能を有効にすると、調理ゾーンは最大 2 時間後に自動的にオフになります。

この機能は、調理したばかりの食品（まだ熱い食品）を保温するためのものです。冷めてしまった食品を再加熱するための機能ではありません。

保温するときのヒント

- 鍋やフライパンなどで保温してください。鍋にはフタをしてください。
- 保温中の食品をかき混ぜる必要はありません。
- 食品を調理すると栄養素は失われます。これは、食品の保温中も同様です。食品の保温時間が長くなればなるほど、失われる栄養素も多くなります。食品の保温時間は、できるだけ短くすることを心がけてください。

電源の切り方と余熱表示

調理ゾーンのスイッチを切る

■ センサーを 2 回押して、必要な調理ゾーンを選択します。

調理ゾーンの表示部で 0 が数秒間点滅します。その調理ゾーンがまだ熱い場合、余熱表示ランプが表示部に示されます。

本体の電源を切る

■ ⓘ センサーを押します。

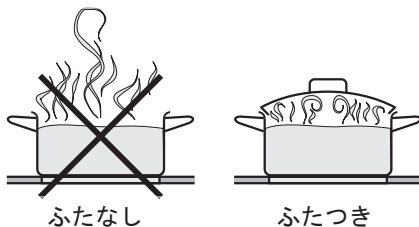
すべての調理ゾーンの電源が切られます。まだ熱い調理ゾーンの表示部には余熱表示ランプが表示されます。

余熱表示ランプ

余熱表示ランプの 3 本のラインは、調理ゾーンが冷めるにつれて 1 本ずつ消灯します。最後の水平ラインは、調理ゾーンを触わっても安全な状態になってから消灯します。

余熱表示ランプが点灯している間は調理ゾーンに触ったり、熱に弱いものを置かないでください。
やけどや発火の恐れがあります。

上手に節電するためのポイント

– 鍋にふたをすると熱がうばわれるのを防ぐことができます。

– 少量の調理には小さい鍋を使用してください。大きな鍋に少量の食品を入れるよりも、小さい鍋を使用した方が使用電力は少なくなります。

– 調理に使用する水はできるだけ少なくしてください。

– 食品が沸騰した後、または鍋が炒め物や揚げ物に適した温度になった後は、火力を下げてください。

– 加圧調理器を使用すると、調理時間を大幅に短縮できます。

タイマーを使用するには、本体の電源を入れておく必要があります。

タイマーは 2 種類の機能に使用できます。
– キッチンタイマーの設定
– 自動スイッチオフ機能（調理ゾーンの電源を自動的に切るための設定）

時間は 1 分（01）～ 9.5 時間（9.h）まで設定できます。99 分（99）を超える時間が設定されると、時間は 0.5 時間単位で設定されるようになります。数字の後の点が 0.5 時間を表します。

時間を 9.h から 00 に減らすには – センサーを、00 から 9.h に増やすには + センサーを押します。表示は 2h および 99 で停止します。設定の入力を続けるには、少しの間センサーから指を離した後でもう一度押してください。

設定時間を過ぎると、タイマーの表示部に数秒間 00 が表示されます。同時にアラームが数秒間鳴ります。アラームが鳴る前に止めるには、◷ センサーを押してください。

キッチンタイマー

キッチンタイマーを設定するには

■ ◷ センサーを押します。

タイマーの表示部で、00 とタイマーの表示ランプが点滅します。

■ 必要な時間（15 分など）が表示部に表示されるまで、– センサーまたは + センサーを押し続けます。

設定した時間は、1 分ずつカウントダウンされます。残り時間はタイマーの表示部に表示されます。

キッチンタイマーを変更するには

■ ◷ センサーを押します。

■ – センサーまたは + センサーを押して、必要な時間を設定します。

キッチンタイマーを削除するには

■ ◷ センサーを押します。

■ – センサーと + センサーを同時に押します。

タイマー

調理ゾーンの電源を自動的に切る

設定した時間に調理ゾーンの電源を自動的にオフにすることができます。
すべての調理ゾーンを同時にプログラムできます。

プログラムされた時間が有効な最大稼動時間より長い場合は、有効な最大稼動時間経過後に調理ゾーンの電源をオフにします（「スイッチオフ機能」を参照）。

■ 使用する調理ゾーンの火力レベルを選択します。

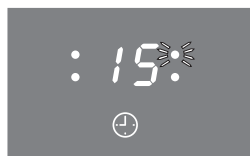
■ ◷ センサーを押します。

タイマーの表示部で、00 とタイマーの表示ランプが点滅します。

■ ◷ センサーをもう一度押します。

タイマーの表示部にあるタイマーの表示ランプが消え、いずれかの調理ゾーンの表示ランプが点滅します。

■ 複数の調理ゾーンの電源がオンになっている場合は、この機能を使用する調理ゾーン（右後方など）の表示ランプが点滅するまで ◷ センサーを繰り返し押します。

電源がオンになっている調理ゾーンの表示ランプが、左手前から時計回りに点灯します。

■ 必要な時間（15 分など）が表示されるまで、– センサーまたは + センサーを押します。

設定した時間は、1 分ずつカウントダウンされます。残り時間はタイマーの表示部に表示されます。

別の調理ゾーンの電源を自動的に切るように設定するには、上記の手順に従ってください。

複数のスイッチオフ時間が設定されている場合、最も短い残り時間が表示され、その調理ゾーンに対応する表示ランプが点滅します。その他の表示ランプはすべて点灯したままの状態になります。別の調理ゾーンの残り時間を確認するには、その調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、◴ センサーを繰り返し押します。

自動スイッチオフの時間を変更する

■ 必要な表示ランプが点滅するまで、◴ センサーを繰り返し押します。

■ **–** センサーまたは **+** センサーを押して、必要な時間を設定します。

両方のタイマー機能を同時に使用する

キッチンタイマー機能と自動スイッチオフ機能を同時に使用することができます。

自動スイッチオフ時間を 1 つ以上プログラムしていて、さらに**キッチンタイマーも使用する場合：**
タイマーの表示ランプが点滅するまで、◴ センサーを繰り返し押します。

キッチンタイマーを使用していて、**さらに自動スイッチオフ時間を 1 つ以上プログラムする場合：**
使用する調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、◴ センサーを繰り返し押します。

最後に入力した後すぐに、タイマーの表示が切り替わり、残りが最も短い時間が表示されます。
他の調理ゾーンの残り時間を見たい場合は、対応する表示ランプが点滅するまで ◴ を繰り返し押してください。

表示される残り時間が最も短いものから始まり、オンになっているすべての調理ゾーンとキッチンタイマーが時計回りに選択されます。

安全機能

セーフティロック / システムロック

安全のため、お子様が本製品に近づかないようにしてください。本製品にはセーフティロックおよびシステムロックを備えて、本体や調理ゾーンの電源を入れたり、設定を変えたりできないようにしてあります。

セーフティロックは、本体の電源が入っている場合に有効です。セーフティロックが有効である場合 :

- 調理ゾーンの火力レベルおよびタイマーの設定は変更できません。
- 調理ゾーン、本体、およびタイマーの電源を切ることはできますが、一度電源を切ると再び電源を入れることはできません。

システムロックは、本体の電源が切れている場合に有効です。システムロックが有効になっている場合、本体の電源を入れることはできず、またタイマーを使用することもできません。

システムロックを有効にするには手動で行わなければならないように、本体がプログラムされています。システムロックが手動で有効にされていなければ、本体の電源が切られてから 5 分後、自動的に有効になるように設定を変更できます（「プログラミング」を参照）。

セーフティロックまたはシステムロックが有効なときに、使用できないセンサーを押すと、調理ゾーンの表示部の左手前にL、右手前にCが約 3 秒間表示されます。

電源が遮断された場合、セーフティロックおよびシステムロックは無効になります。

ロックの設定

■ 長い音が鳴るまで、**–** センサーと **+** センサーを**同時に**押し続けます。

ロックの解除

■ 音が鳴るまで、**–** センサーと **+** センサーを**同時に**押し続けます。

安全機能

スイッチオフ機能

超過調理時間での切り忘れ防止

調理ゾーンのいずれかが異常に長い時間加熱されると（表を参照）、火力レベルは変更されず、自動的に本体の電源が切れて、対応する余熱表示ランプが点灯します。

再び調理ゾーンを使用するには、通常の方法で電源を入れ直してください。

火力レベル *	最長運転時間（時間）
h	2
1 / 1.	10
2 / 2.	5
3 / 3.	5
4 / 4.	4
5 / 5.	3
6 / 6.	2
7 / 7.	2
8 / 8.	2
9	1

* **数字の後ろに点がある連続調理火力レベルは、火力レベルの範囲が拡張した場合のみ利用可能です（「プログラミング」を参照）。**

煮こぼれしても安心

指先が触れたり、煮こぼれしたり、オーブングローブやふきんなどで 1 つ以上のセンサースイッチが覆われた状態で 13 秒以上経過すると、自動的に本体の電源が切れます。
各調理ゾーンの表示部で F が点滅します。同時に、30 秒おきに音でお知らせします（最長 10 分間）。

- 操作部をきれいにし、障害となっているものを取り除いてください。

これで音は鳴り止み、F も消灯します。これで本体を使えるようになります。

過熱防止機能

誘導コイル / 冷却装置

電子回路のすべての誘導コイルおよび冷却装置には、過熱防止機能が搭載されています。誘導コイルや冷却装置が熱くなりすぎる前に、以下のいずれかの方法で過熱防止機能が作動します。

誘導コイル

– ブースター機能を使用中の場合はオフになります。

– 火力レベルが下げられます。

– 調理ゾーンの電源が自動でオフになります。エラーメッセージ「FE44」が表示されます。

エラーメッセージが消えれば、通常通りに調理ゾーンを使用できるようになります。

冷却装置

– ブースター機能を使用中の場合はオフになります。

– 火力レベルが下げられます。

– 調理ゾーンの電源が自動でオフになります。

影響を受ける調理ゾーンが再度通常通り使用できるようになるのは、冷却装置が安全なレベルの温度に冷めてからです。

過熱が起きる原因として以下が考えられます。

– 鍋を空だきしている。

– 脂肪や油を最大火力で加熱している。

– 本体下側の換気が不足している。

– 熱くなっている調理ゾーンの電源が停電後にオンになった。

過熱防止機能が再び作動する場合は、コールセンターにご連絡ください。

操作パネル

操作パネルの電子ユニットには、過熱防止機能が装備されています。この機能によって、電子ユニットが過熱する前に本体の電源がオフにされます。

エラーコード「FE37」が表示されます。

電子ユニットが十分に冷めると、エラーコードは消えて、本体を再度使用できるようになります。

過熱は、複数の調理ゾーンを高火力で長時間過熱した場合に起こる可能性があります。

本製品を掃除するときは、スチームクリーナーは絶対に使用しないでください。蒸気が電気部品に達してショートの原因になることがあります。

定期的に、できれば毎回使用後に本製品を掃除してください。室温まで冷ましてから掃除してください。
水跡、カルキ付着を防ぐには、水洗いした表面を柔らかい布で拭き取ってください。

本製品表面の損傷を防ぐため、以下のものは使用しないでください。

- 食器用洗剤
- 酸化ナトリウム、アルカリ、アンモニア、酸、または塩化物を含むクリーナー
- カルキ除去剤を含むクリーナー
- 汚れまたはサビ落とし
- 粉またはクリーム状の研磨剤
- 溶剤を含むクリーナー
- 食器洗い機用クリーナー
- オーブン・グリル用クリーナー
- ガラス用クリーナー
- ポット用のたわしのような硬いブラシやスポンジ、研磨剤を付けて使ったことのあるブラシやスポンジなど
- メラミンフォーム製の水周り用消しゴム
- セラミックガラス表面と周りのフレームとの間や、フレームと天板との間のシールを破損するような、先の尖ったもの

掃除とお手入れ

セラミックガラス表面

セラミックの面を掃除する際は、液体の食器用洗剤を使用しないでください。液体の食器用洗剤では汚れや付着物を全て取り除くことはできません。また、目に見えないコーティングがされ変色する恐れがあります。
定期的に表面を専用クリーナーでお掃除してください。

湿った布で表面の汚れを拭き取ってください。がんこな汚れは傷の付かないスクレーパー（付属品）で落とす必要があります。

それから、キッチンペーパーやふきんなどで、セラミックガラス表面用クリーナーで本体をきれいにします。本体がまだ熱いうちはクリーナーを使用しないでください。染みになる恐れがあります。クリーナーのメーカーの指示に従ってください。

最後に、湿った布で本体表面を拭き取ってから、きれいな柔らかい布で乾かします。クリーナーの跡は確実に落としてください。本製品にクリーナーが残っていると、次に使用する際にセラミックガラス表面を損傷することがあります。

カルキ、水道水やアルミニウムの残留物により生じる**染み**（金属の付着した染み）は、セラミックガラス表面用クリーナーで落とすことができます。

調理ゾーン使用中に熱くなっている調理ゾーンへ**砂糖、プラスチックまたはアルミホイル**を落とした場合は、まず本製品の電源を切ってください。本体に残った砂糖、プラスチック、またはアルミニウムは、本体がまだ熱いうちに、傷の付かないスクレーパーで注意しながらこすり落としてください。やけどをしないように注意してください。本製品が冷めてから、前述のセラミックガラス表面用クリーナーを使ってきれいにしてください。

リセット

本製品にはリセット機能があります。この機能によって、プログラミング機能を使用して変更したすべての設定を、元の工場出荷時設定に戻すことができます。

リセット機能の実行

- 本体の電源を入れます。
- 左手前および右手前の調理ゾーンのセンサーを同時に押し、両方の調理ゾーンの表示ランプが消灯するまで（約 10 秒間）押し続けます。

本体が元の設定にリセットされるには、1 分ほどかかります。ブースターの表示が短く点灯すると、リセットは完了です。

リセットが完了するまでは、本体の電源を入れ直さないでください。

追加機能

プログラミング

プログラミングオプションのデフォルト設定を変更できます（表を参照)。複数の設定を連続して変更できます。

プログラミングモードが呼び出されると、P（プログラム）、S（ステータス)、および数字が調理ゾーンの表示部に表れます。これらは、現在の設定を示します。

プログラミングモードを終了すると、本体は自動的にリセットされます。ブースターの表示が短く点灯すると、リセットは完了です。

リセットが完了するまでは、本体の電源を入れ直さないでください。

プログラミングモードを呼び出すには

■ 本体の電源が切れている状態で、対応する表示ランプが点滅するまで ⓘ センサーおよび **B I/II** センサーを同時に押します。

プログラム / ステータスの設定

■ 4 つ以上の調理ゾーンを装備した製品の場合
左手前の調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

■ 3 つの調理ゾーンを装備した製品の場合
左の調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

■ **+** センサーまたは **–** センサーを押して、必要な**プログラム**を設定します。

■ **右手前**の調理ゾーンのセンサーを押します。

■ **+** センサーまたは **–** センサーを押して、必要な**ステータス**を設定します（表を参照)。

設定を保存するには

■ すべての表示が消えるまで、ⓘ センサーを押します。

設定を保存しないときは

■ 全ての表示が消灯するまで、**B I/II** センサーを押します。

プログラム *	ステータス **	設定
P 00 デモモードおよび工場出荷時のデフォルト設定	S 0	デモモード On （本体に電源を入れると、左手前の調理ゾーンの表示部に d、右手前の調理ゾーンの表示部に E が数秒間表示されます）
	S 1	デモモード Off
	S 9	工場出荷時設定に復旧
P 02 火力レベルの範囲	**S 0**	9 段階の火力設定 （1、2、3 〜 9 まで）
	S 1	17 段階の火力設定 （1、1.、2、2.、3 〜 9 まで） 自動加熱設定が選択されている場合、火力設定を表示しながら、A を交互に点滅表示
P 03 鍋がない場合、または使用に適さない鍋を使用した場合に IH 機能の警告アラームが鳴る	**S 0**	オフ
	S 1	小
	S 2	中
	S 3	大
P 04 センサーを押すとキーパッドから音が鳴る	S 0	オフ
	S 1	小
	S 2	中
	S 3	大
P 05 タイマーのアラーム音	S 0	オフ
	S 1	アラーム音（小）（10 秒間）
	S 2	アラーム音（中）（10 秒間）
	S 3	アラーム音（大）（10 秒間）

*　ここに表示されていないプログラムには割り当てがありません。

** 工場出荷時設定は太字で示しています。

追加機能

プログラム *			ステータス **		設定
P	**07**	システムロック	**S**	**0**	手動でシステムロックのみを有効にする
			S	1	手動および自動でシステムロックを有効にする
P	**05.**	センサーが覆われているとアラームが鳴る	**S**	**0**	オフ
			S	1	オン
P	**06.**	センサーの反応速度	S	0	遅い
			S	**1**	標準
			S	2	速い

* ここに表示されていないプログラムには割り当てがありません。

** 工場出荷時設定は太字で示しています。

ここでは、弊社コールセンターにお問い合わせいただく前に、軽度のトラブル（誤った操作によるものを含む）を解決するためのヒントを説明します。

電気機器の設置作業および修理は、必ずお住まいの地域および国の電気設備基準に従って、有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

問題	考えられる原因	対応策
本体や調理ゾーンの電源が入らない。	ブレーカーが落ちています。	電気のブレーカーをリセットしてください。
	技術的な障害が発生している可能性があります。	以下のいずれかの方法で、1分程度、本製品から電源を遮断してください。 – コンセントの電源をオフにし、プラグを抜きます。または断路器でスイッチをオフにします。 または – ブレーカーを落とします。 電源のブレーカーをリセットし、本製品の電源を入れ直します。それでも電源が入らないようであれば、電気の有資格者または弊社コールセンターにご連絡ください。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因	対応策
本製品を初めて使用する際に、臭いや蒸気が発生する。		しばらくすると臭いや蒸気などは発散します。これは健康を害するものではなく、接続不良や本製品の不具合でもありません。
いずれかの調理ゾーンの表示部に U マークが点灯する。	調理ゾーンに鍋が置かれていないか、使用に適さない鍋が置かれています。	適切な鍋を使用してください（「鍋」を参照）。
本体に電源を入れると、左手前の調理ゾーンの表示部に L、右手前の調理ゾーンの表示部に C が数秒間表示される。	システムロックが有効になっています。	システムロックを無効にしてください（「セーフティロック / システムロック」を参照）。
本体に電源を入れると、左手前の調理ゾーンの表示部に d、右手前の調理ゾーンの表示部に E が数秒間表示される。 調理ゾーンが加熱されない。	デモモードで稼動しています。	デモモードを無効にしてください（「プログラミング」を参照）。
調理ゾーンまたは本体全体の電源が自動的にオフになる。	調理ゾーンの使用時間が長くなりすぎています。	調理ゾーンの電源を入れ直せば、再度調理ゾーンを使用できます（「スイッチオフ機能」を参照）。
	過熱防止機能が作動しています。	「過熱防止機能」を参照してください。

<table>
<tr><th>問題</th><th>考えられる原因</th><th>対応策</th></tr>
<tr><td>ブースターが自動で無効になるのが早い。</td><td rowspan="2">過熱防止機能が作動しています。</td><td rowspan="2">「過熱防止機能」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>調理ゾーンが、設定した火力レベルで通常通りに機能しない。</td></tr>
<tr><td>リンクした2つの調理ゾーンまたは拡張ゾーンで同時に火力レベル 9 を選択すると、火力レベルが自動的に下がる。</td><td>両方のゾーンを火力レベル9で使用すると、2 つのゾーンで許容される最大火力レベルを超えることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>使用中に本体の電源が切れ、すべての調理ゾーンの表示部で F が表示されて音が鳴る。</td><td>指先が触れたり、煮こぼれしたり、オーブングローブなどで1つ以上のセンサーが覆われています。</td><td>操作部をきれいにし、障害となっているものを取り除いてください（「スイッチオフ機能」を参照）。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自動加熱機能がオンになると、鍋の中身があまり加熱されない、またはまったく加熱されない。</td><td>鍋の中身が多すぎます。</td><td>最高の火力レベルで調理を開始して、後から手動で火力レベルを弱めてください。</td></tr>
<tr><td>鍋の熱伝導が悪い可能性があります。</td><td></td></tr>
<tr><td>本体の電源をオフにした後も冷却ファンが動作し続ける。</td><td>ファンは、本体が冷めるまで動作を続けます。本体が冷めれば自動的に停止します。</td><td></td></tr>
</table>

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因	対応策
センサーの感度が良すぎるか、またはまったく反応しない。	センサーの感度レベルが変更されています。	本体に直射日光（太陽または人工の光源）が当たらないこと、および周辺が暗すぎないことを確認してください。 センサーまたは本体を覆うものがないことを確認してください。本体から鍋を下ろして、セラミックガラス表面の汚れを拭き取ってください。
左後方の調理ゾーンの表示部で F、右後方の調理ゾーンの表示部で E が点灯し、手前の表示部に数字が表示される。 **左　右**		
9　0 9　1 9　2 9　3	リセット機能の実行後または電源の遮断後に、キャリブレーションエラーが発生しています。5 分経っても表示が消えない場合は、右の「対応策」の説明に従ってください。	約 1 分間、本体の電源を停止します。 それでも問題が解決しない場合は、弊社コールセンターまでご連絡ください。
3　7 4　4	過熱防止機能が作動しています。	エラーコードが消えれば、本製品を再度使用できるようになります（「過熱防止機能」を参照）。
4　7 4　8	ファンが妨げられているかエラーが発生しています。	フォークのようなもので妨げられていないか、確認してください。換気の妨げになるようなものは全て取り除いてください。 このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、弊社コールセンターまでご連絡ください。
その他すべてのエラーコード	電子部品にエラーが発生しています。	約 1 分間、本体の電源を停止します。 本製品を電源に接続し直した後も問題が生じる場合は、弊社コールセンターまでご連絡ください。

本製品の設置および接続は、必ず地域および国の電気設備基準に厳密に従って、適任な有資格者が行う必要があります。

本製品の損傷を防ぐため、本体の設置前に壁ユニットとレンジフードを取り付けてください。

- 天板（または隣接するキッチンユニット）の化粧板またはラミネートコートには、溶解または変形しない 100 ℃耐熱の接着剤を使用してください。
  バックモールドはすべて、耐熱素材でなければなりません。
- 有資格技術者が設備のリスクアセスメントを行う場合に限り、船舶などの移動設備での本製品の使用を許可します。
- 本体は、冷蔵庫、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、食器洗い機、洗濯機、または乾燥機の上に設置しないでください。
- 本体は、ビルトインの冷却ファンが装備されていない限り、オーブンやクッカーの上に設置しないでください。
- 本体の設置後、本製品の下側に電源コードを接続できないことを確認してください。引き出しなど、本体が損傷する恐れがある障害がないことを確認してください。
- 次ページ以降に記載されている安全距離を必ず守ってください。

この取扱説明書で示す寸法は、すべて mm 単位です。

設置に関する安全上の注意

本体側面および後部の安全距離

本体は、両方の側面に十分なスペースをとって設置するのが理想的です。背面あるいは一方の側面（右側**または**左側）に、壁やトールユニットがあってもかまいません(図を参照)。

① 天板の開口部と**背面**の間の最低限必要な距離は 50mm

② 天板の開口部の**右側**と家具（トールユニットなど）や壁の最も近い部分の間の最低限必要な距離は 50mm

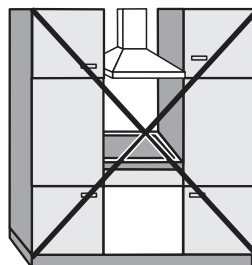
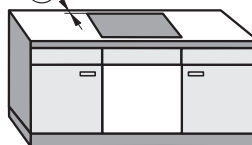
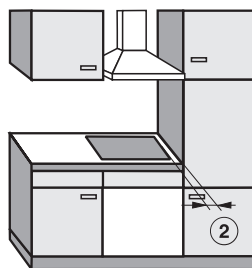
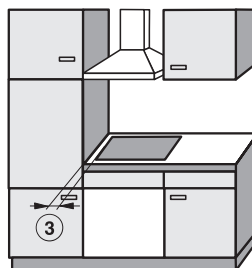
③ 天板の開口部の**左側**と家具（トールユニットなど）や壁の最も近い部分の間の最低限必要な距離は 50mm

不可

推奨

2

非推奨

非推奨

本体下方の安全距離

本体の換気が十分に行われるよう、本体下側とオーブン、棚、または引き出しとの間には最小限の距離を保つ必要があります。

最低限必要な本体下側との距離

- **オーブン**上部は **15mm**
- **棚**上部は **15mm**
- **引き出し**底面は 75mm

棚

必要に応じて、本体の下に棚を合わせることができます（必須ではありません）。

ケーブル敷設のため、本体背面に 10mm の通気スペースを設けてください。
十分な換気が行われるよう、本体前面には 20mm の通気スペースを設けてください。

設置に関する安全上の注意

ニッチクラッディングのある壁の近くに設置する場合の安全距離

熱による破損から保護するために、天板の開口部とニッチクラッディングの間は、安全上必要な最小限の距離を保ってください。

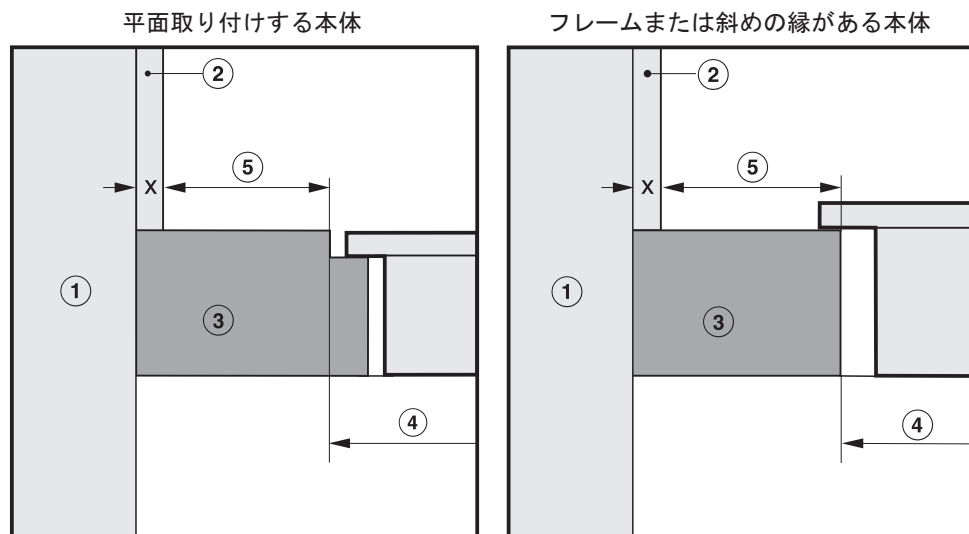
ニッチクラッディングが**可燃性の素材**（木製など）である場合、安全上、開口部とクラッディングの間に少なくとも 50mm の距離⑤を保ってください。

ニッチクラッディングが**不燃性の素材**（金属、天然石、セラミックタイルなど）である場合、安全上、開口部とクラッディングの間に、少なくともニッチクラッディングの厚さより 50mm 少ない距離⑤を保ってください。

例 :15mm のニッチクラッディング

50mm-15mm= 安全上最小限必要な距離は 35mm

フレームまたは斜めの縁がある本体

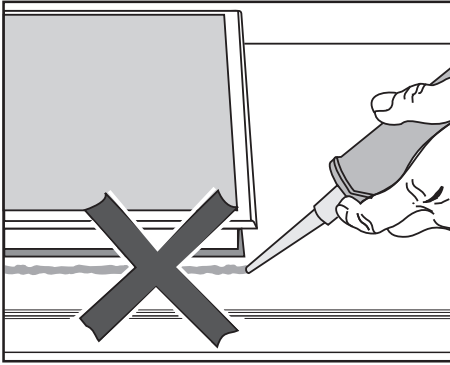
① 石壁

② ニッチクラッディング
寸法 x = ニッチクラッディングの材質の厚さ

③ 天板

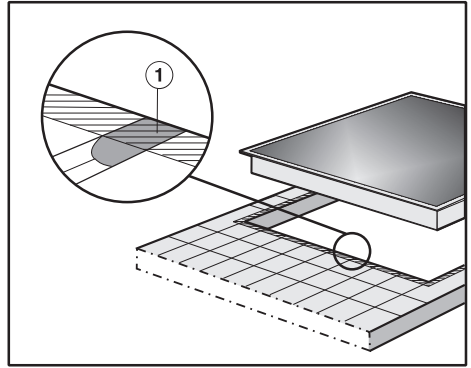
④ 天板の開口部

⑤ 安全上最小限必要な距離
可燃性素材の場合は 50mm
不燃性素材の場合は寸法 x より 50mm 少ない距離

フレームまたは斜めの縁がある本体

本体と天板の間のシール

天板のシールは、本製品上部の縁の下にあるシールストリップだけで十分です。

本体はシーリング材（シリコンなど）でシーリングしないでください。修理のために本体を取り外す必要がある場合に、本体または天板が破損する原因になります。

タイル敷きの天板

本体フレームの下になる漆喰部分①および斜めの部分は、スムーズかつ平らにする必要があります。平らでないと、本体が天板に合わず、本体と天板の間のシールストリップによるシールが不十分になる可能性があります。

電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切ってあることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。

本製品を延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

＜重要＞

単相200V専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本製品は、必ず接地（アース）してください。

＜重要＞

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

自分では修理できない故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

- ミーレ代理店または販売店
- ミーレ・ジャパンのコールセンター（裏表紙参照）

サービス向上のためにお客様の電話はモニターして録音することがありますのでご了承ください。

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

■ 製品に関するご相談や使い方についてのお問い合わせは月～金 (祝日除く) の 9:00 から 17:30 までとさせていただきます。

保証条件と保証期間

保証期間と保証条件の詳細は、保証書に記載されています。

愛情点検

長年ご使用のIHクッカーの点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●電源コード、プラグが異常に熱い。
●運転が時々止まる。
●本体に触れると電気を感じる。
●焦げ臭いニオイがする。
●運転中に異常音や振動がある。
●タイマーが途中で止まることがある。
●その他の異常や故障がある。

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社
コールセンター 0120-310-647
〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス

www.miele.co.jp

M.-Nr. 07 845 750 / 02
ja-JP